

旭小中一貫教育研究会 『児童生徒交流部会』
第3回 部会記録

ねらい

「生徒指導、児童会・生徒会活動、学校行事の見直し・改善、統合を図る。」

具体的な内容

- | | |
|--------------------|-------------------|
| (1) 生徒指導 | (2) 児童生徒会 |
| ・生活面から学力向上を支援する取組 | ・お互いのリーダーを育てていく取組 |
| ・生徒指導実践の交流 | ・体育的レクリエーション(11月) |
| ・特別支援の必要な子ども等の情報交換 | |

1 開催日 平成21年6月10日(水)

2 出席者

小学校 池上 竹井 石川 渡邊 保田
中学校 松下 和田

3 話し合われたこと

- (1) 生徒指導
生活習慣・学習習慣の確立への取組 <アンケートの実施>
・目的：児童生徒自身が自分の生活を見つめ直し改善していこうとする意識を高める。
・小中の課題 - 早く寝ること、テレビやゲームの時間を減らすこと、学習時間を増やすこと
・取組の方法
小学校1～3年、4～6年、中学校という3つの区切りで1週間調査を行う(6月末までに)。次回までに分析・考察をしておく。
個別の教育支援計画を一本化
小学校で活用している県指導課発行の「個別の教育支援計画」を小中一貫で使用
- (2) 児童生徒会
体育的レクリエーションの取組(実施予定日11月18日(水)5、6校時)
・第1回実行委員会の開催
日 時：6月15日(月)
参加者：児童会、生徒会役員と担当者、体育委員と担当者
内 容：ドッジビー?
- (3) 生徒指導の情報交換
通学状況、あいさつについて
・先生や運転手さんにはあいさつしているが、子ども同士ではあまりかわしていない。
・コミュニケーションの第一歩として、自然にあいさつができるように習慣化したい。
中学校での職場体験では、「声が小さい」「表情がかたい」などとよく言われる。
・児童会、生徒会の取組(あいさつ標語など)
言葉遣いについて
・自分が言われたら嫌な言葉、きつい言葉を平気で人に言う子どもが多い。
・電話の応対や保健室などでけがの事情を話す時など、「単語」で言う子どもが多い。
・ほめられてうれしいと感じたり、うれしいことを表情に出したりする子どもが少ない。また、友だちのことを「 さんはいい人だなあ」と思っている子どもが少ない。「自尊感情の不足」が影響していると考えられる。平素よりいいところを見つけてはほめ、自己肯定感ややる気を引き出していきたい。
携帯やインターネットについて
・中学校では約6割の子が携帯を所持している。学校に持ってくる場合、申請書の提出で許可していて、校内では使用禁止としている。親との連絡を目的にしている場合が多い。親への啓発のため、PTA講演会を開催する。保育園小学校にもPTA関係で参加の呼びかけをする。
日時：7月15日(木)19:00～
場所：旭中学校 内容：携帯、ネットの危険について
・地区懇談会で呼びかけをしていく。

4 次回について

- アンケートについて
・調査の分析・考察をもとに話し合い、課題解決の方法を探る。
体育的レクリエーションについて
・第1回実行委員会を受けて詳細を検討する。
生徒指導の情報交換